

公共事業の削減などを背景に、都市部と比べ地方経済の衰退が著しい。建設業の新分野進出を通して地方の再生を支援し、2007年1月から内閣府の規制改革会議の委員を務める米田雅子慶応大学教授に、規制改革による地域活性化について聞いた。

規制改革による地域活性化

慶応大学教授・内閣府規制改革会議委員 米田雅子氏に聞く



「国の補助金や交付金を使って地方公共団体が建設した施設の用途の転用や譲渡に対する規制が08年度から緩和されることになりました。規制改革会議での活動の大きな成果だと思いません。取り組みのきっかけにはどういった問題があっ

たのですか。

「九州のある町で、建設業の農業進出にともない、めて困難な手続きを進めるために、国との間で極めて困難な手続きを進めるために、国に補助金を返すしか

補助金施設転用で規制緩和を実現

「九州のある町で、建設業の農業進出にともない、めて困難な手続きを進めるために、国との間で極めて困難な手続きを進めるために、国に補助金を返すしか

「今回、補助金適正化法の弾力的な運用として、建設後20年間はほかの用途に使用できなかった施設の10年で、さまざまな法の規制に

「建設業の新事業・新分野進出や地域活性化の旗振り役として活動してきた中で、さまざまな法の規制に

「今回、補助金適正化法の弾力的な運用として、建設後20年間はほかの用途に使用できなかった施設の10年で、さまざまな法の規制に

「建設業の新事業・新分野進出や地域活性化の旗振り役として活動してきた中で、さまざまな法の規制に

「今回、補助金適正化法の弾力的な運用として、建設後20年間はほかの用途に使用できなかった施設の10年で、さまざまな法の規制に

「建設業の新事業・新分野進出や地域活性化の旗振り役として活動してきた中で、さまざまな法の規制に

「今回、補助金適正化法の弾力的な運用として、建設後20年間はほかの用途に使用できなかった施設の10年で、さまざまな法の規制に

各方面から積極的な提案を

「例えば、木くずや食品残さをリサイクルしようとすると廃棄物処理法の規制を受けると、古民家などを地域活性化のために民間に活用しようとする」と、

「聞き手は編集局」比良博(注)